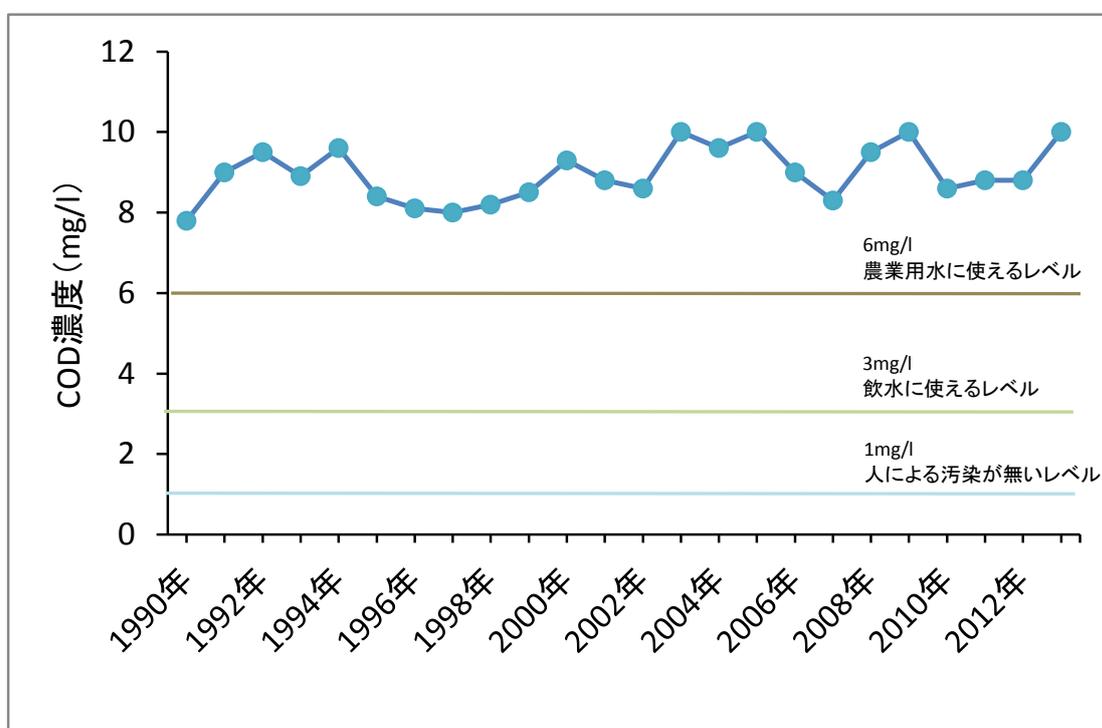


化学的酸素要求量(COD)

化学的酸素要求量（COD）は、水の汚れを示すものです。COD は、水に含まれる有機物*を酸化剤で酸化するときに消費される酸素量を測定したもので、有機物が多いほど値が上がります。この数値が高いほど水質が悪化していることを示しています。国内の主な湖沼では定期的に水質調査が行われ、その結果は環境省のホームページで公表されています。COD を基準とした全国の湖沼の水質ランキングをみると、最近 10 年間伊豆沼はワースト 1 から 10 位の間にランキングされており、水質悪化が進んだ湖沼の一つといえます。伊豆沼・内沼では、水質悪化を防ぎ多様な動植物を保全するために、冬期間、河川から水をひく導水事業など様々な水質改善策が取り組まれています。



伊豆沼の COD 濃度の経年変化.

*：有機物とは、動植物を構成している炭素を主な成分とする物質です。動植物の死がいなどの有機物が多くなると、微生物による分解が追いつかなくなり、有機物などを多く含む泥が底に蓄積され水質が悪化します。